

学生のみなさんへ

港湾職業能力開発短期大学校神戸校長

年末年始における感染症予防に係る注意喚起について

寒さが厳しくなり、空気が非常に乾燥した状況からインフルエンザをはじめとする感染症が本格的に流行する季節となっています。

新型コロナウイルス感染症の拡大は一向に収まりを見せず、全国的にも感染者が増加し、「第3波」として全国に広がっています。全国で一日の新型コロナウイルス感染者が2,000人を超えるなど、感染者と重症者が過去最多を日々更新しており、現在、都道府県によっては医療体制の切迫した状態を危惧する声もあがっています。

兵庫県においても感染経路不明の感染者が急増しており、さらにクラスター（集団感染）も各飲食店や高齢者施設、学校等で発生しています。本校が所在する神戸市においても、新規感染者数が1日に50人を超え、予断を許さない状況となっています。

このような状況下において、最大級の警戒をおこない、予防行動に徹することが大切ですが、長期間の新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応からの疲れや気の緩み・油断から、マスクを外しての密状態での会話やマスクを着用しているのにも関わらず、誤った装着方法で会話している状況が見受けられます。

これまでも本校においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各種の取り組みをおこなってきました。特に年末年始は多くの人と会い、移動や飲食を共にする機会等が増えることが予想されることから、ここで今一度、気を引き締め、なお一層警戒を強め、徹底した予防行動に努めるようお願いいたします。

記

- 1 基本的な感染症予防行動について
 - (1) マスクの着用を徹底する。
 - (2) 手指衛生（手洗い・アルコール消毒）に努める。
 - (3) 授業時間・学校外を含め、換気の悪い密閉空間、多くの人が密集、近距離による会話の場面や場所を避ける（3密の回避）。
 - (4) 食事前や帰宅時にうがいをおこなう。
 - (5) 健康管理（健康観察、毎朝の検温）をおこなう。
 - (6) 規則正しい生活（十分な栄養補給と睡眠）を心がける。

- 2 体調不良・感染の恐れがある場合の対応について
《疾病による症状の違い》
※新型コロナウイルス感染症と普通かぜとインフルエンザの違い（症状はあくまでも目安）を参照して、発熱等の症状をかかりつけ医（受診する病院）に電話連絡して、受診することをお勧めします。
 - (1) 校内の場合
登校の前に自宅で検温し、健康観察をおこなうこととしていますが、校内で体調不良となった場合は、担任（科）の先生または学務課に相談してください。発熱症状の確認のため、検温をおこないます。普段の平熱の範囲を超える発熱（37.0℃～37.5℃以上）が確認された場合は、速やかに帰宅して、自宅療養するとともに、状況に応じて医療機関を受診し、医師の指示に従ってください。

(2) 自宅など登校前の対応

登校前に発熱等の風邪症状(※)が見られるときは、感染拡大を防止するために、授業に出席せずに外出を控えるよう、徹底してください(解熱剤を服用して出席することは不可)。また、必ず学務課へ連絡し、自宅療養するとともに、状況に応じて医療機関を受診し、医師の指示に従ってください。

(※) 平熱の範囲を超える発熱、息苦しさ(呼吸器症状)、強いだるさ(普段にない強い倦怠感)、断続的に生じる咳又は味覚・嗅覚の異常のいずれかがある場合(これらのいずれかの症状がなくなるまで、出席せずに外出を控えるようにしてください。特に発熱については、1日以上安定して平熱に戻った上で、付随する症状(咳、息苦しさ、だるさ等)が全て消失するまで、出席せずに外出を控えるようにしてください)。

(3) 新型コロナウイルス感染症に感染が疑われる場合の対応

感染が疑われる以下の状況が生じた場合は、速やかに学務課へ連絡してください(年末年始12/29~1/3休業日のため、1/4朝以降に連絡してください)。

- イ PCR検査(抗原検査含む。)の対象となった。
- ロ 濃厚接触者に特定された。
- ハ 濃厚接触が疑われると保健所から連絡があった。

また、PCR検査の結果が判明するまでの間は、自宅で待機し、結果を連絡してください。

(4) 医療機関(病院)を受診した場合

発熱の症状があり、医療機関を受診した場合は、病院(検査対応可能な医療機関による)の診察結果にもよりますが、そのままPCR検査をおこなうことがあります。その場合は、必ず検査直後に学務課までPCR検査を受けたことを連絡してください。また、PCR検査の結果が判明したら、速やかに電話連絡をおこなってください。

なお、夜間や休日については、直近の授業のある日の朝9時までに学務課へ電話連絡してください(年末年始12/29~1/3休業日のため、1/4朝以降に連絡してください)。

(5) 関係機関への相談について

息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱、味覚・嗅覚の異常等の強い症状のいずれかがある場合や発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が4日以上続く場合は、新型コロナウイルス受診相談センターへ相談してください(24時間対応)。その際、学務課にも速やかに電話連絡をしてください(年末年始、休日を除く)。

- 兵庫県の新型コロナウイルス感染症に関する相談窓口
新型コロナウイルス健康相談コールセンター TEL:078-362-9980(24時間受付)
- その他、地域の保健所へ問い合わせください。

(6) インフルエンザが疑われる場合

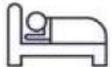
インフルエンザのような症状がある場合は、速やかに医療機関を受診し、医師の指示に従ってください(完治後も含む)。診察結果を学務課に連絡してください。インフルエンザにかかり、発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日を過ぎるまで自宅療養期間として出席停止となります。なお完治後、登校する場合は、必要に応じて医師の許可をもって登校してください(熱が下がってから2日後から登校してもよい等)。

以上

【連絡先】 港湾職業能力開発短期大学校神戸校 学務課
TEL:078-303-7325
FAX:078-303-7335

《 疾病による症状の違い 》

新型コロナウイルス感染症と普通かぜとインフルエンザの違い

症状		新型コロナ 軽症～重症まで 幅広い 季節性は不明	かぜ 緩徐に発症 年中みられる だらだら続く	インフルエンザ 突然の発症 冬に多い 通常5～7日で軽快
発熱 		平熱～高熱	平熱～微熱	高熱
咳 		◎	◎	◎
咽頭痛 		○	◎	◎
息切れ 		○	×	×
だるさ 		○	○	◎
関節痛 筋肉痛 		○	×	◎
頭痛 		○	◎	◎
鼻水 		△	◎	○
下痢 		△	×	○ 特に小児で多い
くしゃみ 		×	◎	×

◎：頻度が高い ○：よくある △：ときどきある ×：まれにある（症状はあくまでも目安）
※オーストラリア政府啓発資料より

● その他の参照ホームページ

- ・ 大阪市 「新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ・かぜ・肺結核について」
<https://www.city.osaka.lg.jp/taisho/cmsfiles/contents/0000517/517883/06.pdf>
- ・ 武田コンシューマーヘルスケア株式会社のホームページ
<https://takeda-kenko.jp/tokushu/covid-19/>